全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の取組事例：長野県 駒ヶ根市

R6.4月時点

◆コンセプト：「人生100年型多世代交流コミュニティの実現」

このまちに来たい、住みたい、住み続けたいと思える人が増えるように、地域の魅力を高め、誰もが居場所と役割を持ち、つながりを持って支え合う地域づくりに取り組み、地域活力の確保や安心な暮らしの確保を目指す。

<特徴>
- ◆ 誰もが活躍できる地域共生社会（ごちゃまぜ）の実現
- ◆ 地域特性を活かし、新たな人の流れをつくる
- ◆ リニア開通を見据え、ブランディング、街なかの整備

◆誰もが居場所と役割のあるコミュニティづくり

地域再生推進法人＝青年海外協力協会JOCA

「交流・居場所」

【主な取組内容・進捗状況】
- ○交流拠点整備　※地域再生推進法人ウェルネス、市民活動支援センター、小規模保育所
- ○外国籍市民との交流促進（多文化共生）
- ○市民団体交流促進

【今後の展開】
- ○関連施設をまちなかに集中整備
- ○交流拠点施設の活用
- ○大使村プロジェクト

「活躍・しごと」

【主な取組内容・進捗状況】
- ○交流拠点を活用した就労の場の創出（就労継続支援Ａ型・Ｂ型）
- ○多様な人の雇用機会の拡大
- ○お互いに関わり合う場づくり

【今後の展開】
- ○多機能型事業所ゴッチャ!ウェルネス等
- ○働く人の環境に合わせた雇用の中間体制構築
- ○若者の活躍の場づくり＋ウミガメプロジェクト
- ○学びの場づくり、まちゼミ
- ○人材活用・人材育成

「健康づくり」

【主な取組内容・進捗状況】
- ○ウェルネスの活用
- ○こまがね健康ステーション連携
- ○地域包括ケアシステム連携

【今後の展開】
- ○ウェルネスとこまがね健康ステーション連携による健康増進
- ○食と健康　まちなか滞在プログラム作成
- ○つれてってカード、長野県看護大学連携事業の構築

「住まい」

【主な取組内容・進捗状況】
- ○関係人口づくりと合わせたゲストハウス、お試し居住の整備
- ○まちなかへの住み替え支援

【今後の展開】
- ○ゲストハウス（民間）連携
- ○立地適正化計画連動した住み替え支援検討
- ○空き家活用の検討

コミュニティへの人の流れ

- ○信州駒ヶ根暮らし推進協議会連携　官民連携による移住相談、マッチング
- ○教育旅行、ワーケーション推進（関係人口拡大）

- ・学校や企業と連携した人材プログラム
- ・テレワーク環境の整備
- ・まちゼミの開催
- ・地域おこし協力隊活用

その他特徴的な取組

<地域特性を活かす、ブランディング>
- ○アルプスに代表される観光資源
- ○JICA駒ヶ根の所在と積み重ねられた国際交流の実績
- ○こまがねテラス
- ○大使村PJの推進
- ○まちなか遊休資産活用
- ○効果的な情報発信

※市民もアルプスのまちを楽しむ機会の提供

Komagane Terrace

基礎データ

- ・人口：31,213人（R6年4月1日時点）
- ・H31.2月駒ヶ根市版総合戦略改定（生涯活躍のまち明記）
  R1.8月駒ヶ根市版生涯活躍のまち構想策定
- ・デジ田交付金（地方創生推進タイプ）（2024.第1回）の活用
- ・地域再生推進法人：公益社団法人青年海外協力協会を指定（R1.9月）、市と協働で事業実施中

駒ヶ根市版生涯活躍のまち構想　概要　（2019.8）

コンセプト：人生100年型多世代交流コミュニティの実現

このまちに来たい、住みたい、住み続けたいと思える人が増えるように、地域の魅力を高め、誰もが居場所と役割を持ち、つながりを持って支え合う地域づくりに取り組み、地域活力の確保や安心な暮らしの確保を目指す。

【基本方針】

（1）誰もが活躍できる地域共生社会（ごちゃまぜ）の実現

（2）持続可能な地域づくりに向け、地域特性を活かした取り組みを促進し、新たな人の流れをつくる

（3）リニア開通を見据え、関係人口増に向け中心市街地の整備を進める

1　多世代・多文化交流の促進

【目標】世代や国籍を超えて、障害を持った方、ケアが必要な方も、様々な人と人とがつながりあう機会を増やすことで、地域共生の機能を高める。

○交流拠点整備　○大使村構想推進

2　新たな人の流れ（学びの場づくり）

【目標】若い世代の流出に歯止めをかけると共に、青年海外協力隊や大都市圏の企業等と連携し、将来のライフスタイルの変化に合わせた環境作りを進め、関係人口を増加させる。

○ワーケーション推進　○地域おこし協力隊活用　○まちなか塾

3　活躍の場づくり

【目標】就労、ボランティア、生涯学習といった積極的な機会に加え、関わり合いや支え合いのなかで役割や生きがいを感じられる機会を増やす。

○交流拠点活用　○多様な雇用創出　○市民団体交流促進

4　移住定住促進

【目標】移住者向け住まいの整備や立地適正化計画の推進など、時代に合った住まいの整備が進められるよう関係機関との連携を強化する。

○信州駒ヶ根暮らし推進協議会連携　○ゲストハウス　○お試し居住　○住まい整備

5　健康増進

【目標】日々の関わり合いによる健康増進に加え、住民が自ら予防的な活動を行う機会を増やしていくとともに、ケアが必要になった場合でも地域で暮らし続けられる環境を整備する。

○こまがね健康ステーション　○ウェルネス　○多世代交流　○活躍の場（居場所）づくり

6　地域の魅力を高める

【目標】中心市街地を核に、アルプスの映えるまちとして、市外の人はもちろん、駒ヶ根で暮らす人が地域を楽しみ、誇りを持てるまちづくりをすすめる。

○こまがねテラス連携　○大使村構想推進　○まちなか塾

（施設整備や事業展開の考え方）

施設整備や取り組みを中心市街地に集約させることで社会資源の密度を高め、事業の推進力、成果を最大化させる。そのため、様々な施策や活動の縦割りを乗り越え複合的な事業展開を行う。

（事業実施体制）

事業運営主体となる地域再生推進法人として、（公社）青年海外協力協会（JOCA）を指定する。JOCAは関連する団体等との連携を図り、市内一丸となってプロジェクトが推進されていくための中核機能を担う。